

伊賀市 事務事業評価シート

一般事務

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
事業名	5	一般管理経費	会計	01	一般会計
			款	02	総務費
基本施策	2	身近なところで高度な医療を提供する	項	01	総務管理費
			目	01	一般管理費
担当部課名	総合危機管理課		細目	101	一般管理経費
作成者氏名	鹿島泰近	連絡先	細々目	01	一般管理経費
		22-9640			

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
事業の目的	公共施設を訪れる市民等	市公共施設へ来所する市民が心配停止状態に陥った際、適切な処置・対応ができる。
本年度事業内容	AEDを市公共施設へ順次設置する。	
根拠法令・要綱等	伊賀市自動体外式除細動機(AED)貸出要領(制定予定)	

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
投入人員			
正規職員 (人)	0	0.3	0.3
人件費合計(A)	0	2,160	2,160
支出内訳(千円)			
事業費(B)	0	1,200	1,600
使用料		1,200	1,600
その他			
合計(A+B)	0	3,360	3,760
財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	0	3,360	3,760
上記 ~ に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
AED配備施設	箇所	0	15	20			

情勢の変化及び事業の改善点等

平成15年に、心停止者に対し救急隊員の到着までの間に現場に居合わせた者(バイスタンダー)が電気的除細動を速やかに行うことがより有効であるとの観点から、非医療従事者による自動体外式除細動器の使用を認めるべきとの提案がなされた。
 非医療従事者による自動体外式除細動器を用いた病院前救護のための活動は、一般市民を始め多くの国民が救命に関与し、突然の心停止の際にまず現場で緊急に行われる救命処置がより迅速、的確になされるようにすることで、救命率の向上を目指すものでAED設置に取り組むことが必要である。
 また、本庁及び各支所に配置が完了される平成19年度下期から、市主催行事等への貸し出しについて検討する。

評価	達成度	2
	効率性	2